

## 平成18年度大阪府普通会計行政コスト計算書の概要

平成18年度の大阪府普通会計行政コスト計算書においては、行政コスト総額が約2兆4,103億円(A)、収入項目が約1兆9,919億円(B)である。コスト・収入差引は、約△4,184億円(C)となっており、平成17年度から約3,922億円の悪化となっている。

その主な要因としては、法人2税を中心に府税など収入が、約698億円増加したものの、退職給与引当金の積算方法を今年度から変更したことにより、退職給与引当金繰入が、約3,369億円増加したことに加え、府立5病院の独立行政法人化に伴う出資金の減をコスト計上したことにより、補助費等が1,261億円増加したことである。

平成18年度大阪府普通会計行政コスト計算書  
(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)

(単位：百万円、%)

区 分	1 8 年 度			1 7 年 度	
	金 額	構 成 比	前年度比	金 額	
行政コスト	1. 人にかかるコスト	1,221,833	50.7	36.8	893,170
	(1) 人件費	814,361	33.8	△ 1.0	822,571
	(2) 退職給与引当金繰入	407,472	16.9	477.2	70,599
	2. 物にかかるコスト	292,373	12.1	0.4	291,069
	(1) 物件費	73,607	3.1	△ 1.3	74,539
	(2) 維持補修費	26,289	1.0	6.8	24,611
	(3) 減価償却費	192,477	8.0	0.3	191,919
	3. 移転支的コスト	790,601	32.8	18.1	669,441
	(1) 扶助費	37,706	1.6	△ 6.7	40,433
	(2) 補助費等	677,078	28.0	22.9	550,988
	(3) 繰出金	21,258	0.9	△ 0.5	21,364
	(4) 普通建設事業費 (他団体等への補助金等)	54,559	2.3	△ 3.7	56,656
	4. その他のコスト	105,508	4.4	11.4	94,677
	(1) 災害復旧事業費	21	0.0	△ 84.2	133
	(2) 公債費(利子分のみ)	95,552	4.0	7.2	89,142
	(3) 不納欠損額	9,935	0.4	83.9	5,402
行政コスト計	A	2,410,315	100.0	23.7	1,948,357
収入項目	1. 使用料手数料等	167,083	8.4	12.3	148,815
	2. 国庫支出金	167,564	8.4	△ 21.4	213,088
	3. 一般財源等	1,657,212	83.2	6.2	1,560,228
	収入項目計	B	1,991,859	100.0	3.6
差 引 (B-A)	C	△ 418,456			△ 26,226

## 【参考】

バランスシート 正味資産 変動額	国庫支出金当期充当額	D	55,294		49,335
	正味資産当期増減額 (C+D)	E	△ 363,162		23,109
	国庫支出金減価償却額	F	44,185		44,479
	一般財源等当期増減額 (C+F)	G	△ 374,271		18,253

E：バランスシートの正味資産の変動額(平成17→18年度)と一致

G：バランスシートの一般財源等の変動額(平成17→18年度)と一致